

第5回 2018年キーパー技術コンテスト 全国チャンピオン&準チャンピオンの

7月3日撮影予定

施工ビデオを撮影します!



全日本チャンピオン
宮城県チャンピオン

カメイ(株)
カーコーティングプロショップ古川
浅野 真広 選手



今回、全国チャンピオンの浅野選手に加えて、準チャンピオンの山本選手の施工も撮影し、収録することになりました。浅野選手は大柄で身体能力も高く、普通の人以上の動きをすることができます。しかし山本選手は身長は155cmほどと小柄で、普通の可愛い女性。それでも浅野選手とほぼ変わらぬ施工技術とタイムを実現しています。この対照的な2人の施工を撮影し、比較することで、性別や身体の違いに関わらず、どんな人でも「上手くて、はやく」になれる施工のヒントを見いだしていただけると考えています。

撮影前に取材しました! 準チャンピオン 山本麻由さんの施工をチェック

まずは右の表を見てください。昨年と今年のキーパー技術コンテスト全国チャンピオン決定戦準決勝における上位10名のタイムです。同じプリウスを施工し、全体的にはよくなっており、平均3分弱も縮まっています。なぜ、上手いうえにはやいのか?その秘密を解明すべく、今年の全国準チャンピオンである川福石油株式会社高野口SSの山本麻由さんの現場での施工をビデオ撮影に先駆けて取材しました!

キーパー技術コンテスト
全国チャンピオン戦
準決勝タイム比較

第4回2017年	第5回2018年
22:54	22:45
24:41	23:33
23:54	22:03
22:36	23:42
24:29	22:22
26:28	23:08
24:51	24:28
26:53	23:39
25:02	23:56
25:07	23:16
平均タイム	25:06 / 23:25

※赤字は山本麻由さんのタイム



全日本準チャンピオン
和歌山県チャンピオン
川福石油(株) 高野口SS
山本 麻由 選手

練習のポイント

スタッフのみなさんのおかげです!

練習のとき、修正点を言葉で言われても、なかなかイメージができなくて、自分の施工がちゃんとできているか分かりませんでした。だから、施工動画を毎日撮ってもらい、手の動かし方、塗り漏れはないかを繰り返し見直したことで、自分なりの施工ができるようになりました。



施工のポイント①

移動式ワゴンを体の横に置き、クロス置き方を工夫することですぐに取りれてスムーズに施工ができます!

施工のポイント②

体が小さいので、ケミカルを移動式ワゴンに置かず、ポケットに入れることで脚立の乗り降りがなくなり、早く施工ができます。



施工のポイント③

上面の施工では3段脚立を使用し、上から目でしっかりと見ることで、塗り残し、拭き残しなくなり、すみからすみまで施工ができます。



施工のポイント④

脚立の位置は、施工する幅の真ん中に置き、目で見えて隔まで手が届くようにします。



施工のポイント⑤

スポンジ(手元)を目で見て、最初の一発目をまっすぐ直線に引くことで、塗り残しがなくなりました。

施工のポイント⑥

拭き上げの際、拭いたクロスは手で持たずに移動式ワゴンに置くことでクロスが崩れなくなりました。

施工のポイント⑦

レジン拭きは自分の手より大きいクロス幅で拭いてしまうと、拭き残しが多く苦手でした。手の幅で拭くことで、手数は少し増えますが、きちんと拭けるようになりました。

施工のポイント⑧

スポンジ(手元)とボディをしっかりと目で見て塗り広げて、無駄なく拭き上げます。

施工のポイント⑧

レジン拭きでは、1回目、2回目と拭き上げたクロスをそのままワゴンに置くのではなく、クロスをひっくり返して最初に拭いた面を下に向けておくことで、すぐに持って拭けるようになりました。

施工のポイント⑩

移動式ワゴンの位置、道具の置き方を考えて、上手く早く施工ができるようになりました。

上手い人の動画を見て、自分の動きとどう違うか比べて、真似してみるの大事です。でも人それぞれなので、自分にとってはやりづらいこともあります。だから自分にとって無駄なく動ける施工方法やワゴンの位置、道具の位置を試行錯誤して、自分なりの方法を見つけることがポイントだと思います。

